

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： DAB試薬1

製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル

電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）

FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CLPにおける分類： 急性毒性 4: H302 ; 生殖細胞変異原性 2: H341 ; 発がん性 1B: H350

CHIPにおける分類： Xn: R22; T: R45; Xn: R68

最も重要な有害性： 飲み込むと有害。遺伝性疾患のおそれの疑い。発がんのおそれ。

### 2.2 表示要素

CLPによるラベル要素：

危険有害性情報： \* H302：飲み込むと有害。

H341：遺伝性疾患のおそれの疑い。

H350：発がんのおそれ。

注意喚起語： \*危険

危険性を表す絵表示： \* GHS07：感嘆符 GHS08：健康有害性



注意書き： \* P201：使用前に取扱説明書を入手すること。

P202：すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P281：必要に応じて個人用保護具を使用すること。

P264：取扱い後はよく手を洗うこと。

P270：本品を使用する際に、飲食または喫煙をしないこと。

P301+312：飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。

P330：口をすすぐこと。

P308+313：暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

# 安全データシート

DAB試薬1

ページ 2

発行日：2015年1月23日

改訂番号：2.1

CHIPによるラベル要素：

危険性を表す表示記号： \*有害



危険フレーズ： \*R22：飲み込むと有害。

R45：発がんのおそれ。

R68：不可逆的影響のリスクの可能性あり。

安全フレーズ： \*S36/37：適切な保護衣と保護手袋を着用すること。

S53：暴露を防ぐため使用前に取扱説明書を入手すること。

S45：事故もしくは気分が悪い場合には、直ちに医師の診察を受けること。（できれば本品のラベルを見せること。）

予防フレーズ： \*専門家の使用者に限定

## 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・  
有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質：

エチレングリコール

EC	CAS	CLP分類	CHIP分類	パーセント
203-473-3	107-21-1	急性毒性 4: H302	Xn: R22	>90%

REACH登録番号：\* 01-2119456816-28-XXXX

3,3'-ジアミノベンジジン四塩酸塩水和物

EC	CAS	CLP分類	CHIP分類	パーセント
231-018-9	868272-85-9	生殖細胞変異原性 2: H341; 発がん性 1B: H350	T: R45; Xn: R68	1-10%

REACH登録番号：\*該当なし

## 4. 応急措置

4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 皮膚に付着したところを除いて汚染された衣服と履き物をすべて脱がせること。付着部分の皮膚を流水で10分間浸し、まだ物質が皮膚に付着している場合はさらに浸すこと。医師の診断を受けること。

目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識がある場合、0.5リットルの飲料水をすぐに飲ませること。医師の診断を受けること。

吸入した場合： 自分の安全を確保しながら、負傷者を現場から移動すること。医師の診断を受けること。

#### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 炎症や発赤が付着した部分で起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。涙が異常に出る場合がある。

飲み込んだ場合： 口や喉の痛みや発赤が起こる場合がある。吐き気や胃の痛みが生じる場合がある。嘔吐する場合がある。

吸入した場合： 胸の圧迫感をともなう喉の炎症が起こる場合がある。

遅発性/急性の作用： \*急性の作用は短時間の暴露で起こる可能性がある。

#### 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。水噴霧、乾燥化学粉末消火剤、アルコール耐性泡消火剤、二酸化炭素。

#### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

#### 5.3 消火作業員への注意事項

消火作業員の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： \*適切な保護衣なしで作業しないこと。安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照すること。表示により汚染領域を定め、権限のない人員の立ち入りをさせないこと。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： \*排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

#### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 特定の物質に精通した有資格者によって処分されること。乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

#### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

### 7. 取扱いおよび保管

#### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： 本物質に直接触れないこと。十分な換気があることを確認すること。狭い場所では使用しないこと。物質が空気中で霧状となったり、拡散したりしないようにすること。

## 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： \*涼しくて換気が十分な場所に保管すること。容器をしっかりと閉じておくこと。直射日光を避けて保管すること。着火源から遠ざけること。水分や湿気を避けること。

適切な包装： \*該当なし

## 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

## 8.1 防止基準

有害物質：エチレングリコール

\*職場暴露限界：

吸入性粉じん

国・地域	8時間加重平均	15分短時間暴露許容濃度	8時間加重平均	15分短時間暴露許容濃度
イギリス	52 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	104 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	-	-
アイルランド	52 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	104 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	-	-
アメリカ	-	-	-	-
カナダ	-	-	-	-
オーストラリア	52 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	104 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	-	-
ニュージーランド	-	127 mg/m <sup>3</sup> (蒸気)	-	-

\*導出無毒性量/予測無影響濃度評価

有害物質：エチレングリコール

タイプ	暴露	値	母集団	影響
導出無毒性量	吸入	35 mg/m <sup>3</sup>	労働者	一部
導出無毒性量	経皮	106 mg/kg 体重/日	労働者	全身
導出無毒性量	吸入	7 mg/m <sup>3</sup>	一般	一部
導出無毒性量	経皮	53 mg/kg 体重/日	一般	全身

## 8.2 暴露防止

技術的対策： 十分な換気があることを確認すること。

呼吸系の保護具： \*呼吸保護具は、緊急の場合に使用可能でなければならない。

手の保護具： 不浸透性の保護手袋

目の保護具： \*サイドシールド付き安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 不浸透性の保護衣

環境の保護： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。公共下水道もしくは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態：	液体	
色：	褐色	
臭気：	無臭	
蒸発率：	*データなし	
酸化：	*データなし	
水への溶解度：	*データなし	
溶解度：	*データなし	
粘度：	*データなし	
動粘性率：	*データなし	粘度試験方法： *データなし
沸点/沸点範囲 °C：	*データなし	融点/融点範囲 °C： *データなし
燃焼範囲 %：下限値：	*データなし	上限値： *データなし
引火点：	*データなし	分配係数 n-オクタノール/水： *データなし
自然発火温度：	*データなし	蒸気圧： *データなし
相対密度：	*データなし	pH： *データなし
揮発性有機化合物 g/l：	*データなし	

### 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくは保管状態のもとで安定。

### 10.2 化学的安定性

化学的安定性： \*通常条件下では安定。

### 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

### 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱、高温面、炎。

### 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

### 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

**11. 有害性情報****11.1 毒性情報**

危険成分：エチレングリコール

投与経路	動物種	試験	数値	単位
静脈内	ラット	半数致死量	3260	mg/kg
経口	マウス	半数致死量	5500	mg/kg
経口	ラット	半数致死量	4700	mg/kg

混合物に関する危険性：

危険性	侵入経路	根拠
急性毒性（有害）	摂取	危険と予測された
発がん性	-	危険と予測された

**暴露した場合の症状**

- 皮膚に付着した場合： 付着した部分で炎症や発赤が起こる場合がある。
- 目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。涙が異常に出る場合がある。
- 飲み込んだ場合： 口や喉の痛みや炎症が起こる場合がある。吐き気や胃の痛みが生じる場合がある。嘔吐する場合がある。
- 吸入した場合： 胸の圧迫感をとまなう喉の炎症が起こる場合がある。
- 遅発性/急性の作用： \*急性の作用は短時間の暴露で起こる可能性がある。
- その他の情報： \*該当なし

**12. 環境影響情報****12.1 毒性**

生態毒性値： データなし

**12.2 残留性・分解性**

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

**12.3 生物蓄積性**

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

**12.4 土壌への移動性**

移動性： 容易に土壌に吸収される。

**12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果**

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

**12.6 その他の有害影響**

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

**処理作業：** 専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

**回復作業：** \*該当なし

**容器の処理：** \*専門の廃棄業者に回収してもらえるよう整える。

**注：** 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

**陸上輸送 (ADR/RID)：** 規制なし

**ADR：** 危険物の国際道路輸送に関する欧州協定

**RID：** 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

**海上輸送 (IMDG)：** 規制なし

**IMDG：** 国際海上危険物規約

**航空輸送 (IATA)：** 規制なし

**IATA：** 国際航空輸送協会

**内陸水路輸送 (ADNR/AND)：** 規制なし

**ADNR/AND：** 危険物の国際内陸水路輸送に関する欧州協定

\*14.1-14.7は適用外ではあるものの、全ての化学物質と同様に、この物質を含むパッケージは、荷積み、輸送、および荷揚げ中において、損傷や液漏れのリスクを最小限に抑えるように取り扱う必要がある。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

**特定の規制：** \*本安全データシートは以下の規制によって作成された。

EC規制 1907/2006 (化学物質の評価、認可および制限に関する規制)

EC規制 1272/2008 (物質・化合物の分類、包装、表示に関する規制)

1999/45/EC (危険な調剤の分類、包装、表示に関する指令)

### 15.2 化学的安全評価

**化学的安全評価：** \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

**その他の情報：** \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

**用語説明：** H302：飲み込むと有害。

H341：遺伝性疾患のおそれの疑い。

H350：発がんのおそれ。

R22：飲み込むと有害。

R45：発がんのおそれ。

# 安全データシート

DAB試薬1

ページ 8

発行日：2015年1月23日

改訂番号：2.1

R68：不可逆的影響のリスクの可能性あり。

**法的免責：** 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

**保管温度：** 2-8°C

## 適用法令

**毒物及び劇物取締法：** 該当しない

**労働安全衛生法：** 名称等を通知すべき危険物及び有害物（政令第18条の2別表第9）「エチレングリコール」（政令番号：75）

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、政令第18条第1号別表第9）「エチレングリコール」（政令番号：75）※平成28年6月1日施行

**PRTR法：** 該当しない

**消防法：** 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： DAB試薬B  
製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル  
電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）  
FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CHIPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。  
CLPにおける分類： 本品にはCLPにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

### 混合物

\*非分類成分： イミダゾール

EC	CAS	CLP分類	CHIP分類	パーセント
206-019-2	288-32-4	急性毒性 4: H302; 皮膚腐食性 1B: H314; 生殖毒性 2: H361	Xn: R22; C: R34	<1%

REACH登録番号： \* 01-2119485825-24-XXXX

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。  
目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。  
飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。  
吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

## 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

## 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

### 5.3 消火作業員への注意事項

消火作業員の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

## 7. 取扱いおよび保管

### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

## 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

## 8.1 防止基準

職場暴露限界： データなし

## 導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： データなし

## 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

眼の保護具： 安全ゴーグル。洗眼コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

## 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 無色

臭気： 無臭

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

沸点/沸点範囲 °C： \*データなし

融点/融点範囲 °C： \*データなし

燃焼範囲 %：下限値： \*データなし

上限値： \*データなし

引火点： \*データなし

分配係数 n-オクタノール/水： \*データなし

自然発火温度： \*データなし

蒸気圧： \*データなし

相対密度： \*データなし

pH： \*データなし

揮発性有機化合物 g/l： \*データなし

## 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくは保管状態のもとで安定。

### 10.2 化学的安定性

化学的安定性： 通常条件下では安定。

### 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。

下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

### 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

### 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

### 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

毒性値： データなし

非分類成分：イミダゾール

投与経路	動物種	試験	数値	単位
*経口	ラット	半数致死量	970	mg/kg 体重

### 暴露した場合の症状

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

その他の情報： \*該当なし

## 12. 環境影響情報

### 12.1 毒性

生態毒性値： データなし

**\*非分類成分：イミダゾール**

動物種	試験	数値	単位
*コイ科 (Leuciscus idus)	48時間 半数致死濃度	283.6	mg/l
*オオミジンコ (Daphnia magna)	48時間 半数致死濃度	341.5	mg/l

**12.2 残留性・分解性**

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

**12.3 生物蓄積性**

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

**12.4 土壌への移動性**

移動性： 容易に土壌に吸収される。

**12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性評価結果**

難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると  
有毒性判定： 判定されていない。

**12.6 その他の有害影響**

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

**13. 廃棄上の注意****13.1 廃棄物処理方法**

処理作業： \*専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

**14. 輸送情報**

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

**15. 規制情報****15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令**

特定の規制： \*本安全データシートは規制によって必要とされない。

**15.2 化学的安全評価**

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

用語説明： H302：飲み込むと有害。

H314：重篤な皮膚の火傷や眼の損傷を引き起こす。

H361：生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。

R22：飲み込むと有害。

R34：火傷を引き起こす。

法的免責： 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

保管温度： 2-8℃

### 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： ヘマトキシリン試薬  
製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル  
電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）  
FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CLPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。  
CHIPにおける分類： 本品にはCLPIにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質：グリセリン

EC	CAS	CLP分類	CHIP分類	パーセント
200-289-5	56-81-5	-	共同職場暴露限界あり	1-10%

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。  
目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。  
飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。  
吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

# 安全データシート

ヘマトキシリン試薬

ページ 2

発行日：2015年1月26日

改訂番号：2.2

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

## 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

### 5.3 消火作業への注意事項

消火作業者の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

## 7. 取扱いおよび保管

### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

### 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

## 8.1 防止基準

有害物質：グリセリン

職場暴露限界：

吸入性粉じん

国・地域	8時間加重平均	15分短時間暴露 許容濃度	8時間加重平均	15分短時間暴露 許容濃度
EU	10 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
*イギリス	10 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
*アイルランド	10 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
*アメリカ	5 mg/m <sup>3</sup> * <sup>1</sup> / 15 mg/m <sup>3</sup> * <sup>2</sup>	-	-	-
*カナダ	10 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
*オーストラリア	10 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
*ニュージーランド	10 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-

\*<sup>1</sup>：吸入性粉じん、\*<sup>2</sup>：吸引性粉じん

## 導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： データなし

## 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

## 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 紫

臭気： やっと感知できる臭い

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

動粘性率： \*データなし

粘度測定方法： \*データなし

# 安全データシート

ヘマトキシリン試薬

ページ 4

発行日：2015年1月26日

改訂番号：2.2

沸点／沸点範囲 °C：	*データなし	融点／融点範囲 °C：	*データなし
燃焼範囲 %：下限値：	*データなし	上限値：	*データなし
引火点：	*データなし	分配係数 n-オクタノール/水：	*データなし
自然発火温度：	*データなし	蒸気圧：	*データなし
相対密度：	*データなし	pH：	*データなし
揮発性有機化合物 g/l：	*データなし		

## 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくは保管状態のもとで安定。

### 10.2 化学的安定性

化学的安定性： \*通常条件下では安定。

### 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

### 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

### 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

### 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

危険成分：グリセリン

投与経路	動物種	試験	数値	単位
*経皮	モルモット	半数致死量	56,750	mg/kg
*経口	ラット	半数致死量	23,000	mg/kg
*吸入（蒸気）	ラット	1時間 半数致死濃度	>11	mg/l

### 暴露した場合の症状

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

その他の情報： \*該当なし

## 12. 環境影響情報

### 12.1 毒性

生態毒性値： \*データなし

### 12.2 残留性・分解性

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

### 12.3 生物蓄積性

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

### 12.4 土壌への移動性

移動性： 容易に土壌に吸収される。

### 12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

### 12.6 その他の有害影響

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

処理作業： \*専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

特定の規制： \*本安全データシートは規制によって必要とされない。

### 15.2 化学的安全評価

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

**法的免責：** 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

**保管温度：** 2-8°C

### 適用法令

**毒物及び劇物取締法：** 該当しない

**労働安全衛生法：** 該当しない

**PRTR法：** 該当しない

**消防法：** 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： HER2 陰性コントロール

製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル

電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）

FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CHIPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。

CLPにおける分類： 本品にはCLPにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・  
有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質： \*該当なし

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。

吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 軽度の炎症が付着した部分で起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

#### 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

#### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

#### 5.3 消火作業員への注意事項

消火作業員の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

#### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

#### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

### 7. 取扱いおよび保管

#### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

#### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

#### 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

### 8.1 防止基準

職場暴露限界： \*データなし

導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： \*データなし

### 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくはは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 淡黄色

臭気： 無臭

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

沸点/沸点範囲 °C： \*データなし

融点/融点範囲 °C： \*データなし

燃焼範囲 %：下限値： \*データなし

上限値： \*データなし

引火点： \*データなし

分配係数 n-オクタノール/水： \*データなし

自然発火温度： \*データなし

蒸気圧： \*データなし

相対密度： \*データなし

pH： \*データなし

揮発性有機化合物 g/l： \*データなし

### 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくはは保管状態のもとで安定。

## 10.2 化学的安定性

化学的安定性： 通常条件下では安定。

## 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。  
下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

## 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

## 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

## 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

# 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

毒性値： \*データなし

### 暴露した場合の症状

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

その他の情報： \*該当なし

# 12. 環境影響情報

## 12.1 毒性

生態毒性値： \*データなし

## 12.2 残留性・分解性

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

## 12.3 生物蓄積性

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

## 12.4 土壌への移動性

移動性： 容易に土壌に吸収される。

## 12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 12.6 その他の有害影響

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

処理作業： \*専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

特定の規制： \*本安全データシートは義務付けられたものではない。

### 15.2 化学的安全評価

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

法的免責： 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

保管温度： 2-8°C

### 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： HER2 一次抗体

製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル

電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）

FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CHIPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。

CLPにおける分類： 本品にはCLPにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・  
有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質： \*該当なし

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。

吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 軽度の炎症が付着した部分で起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

#### 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当しない

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

#### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

#### 5.3 消火作業員への注意事項

消火作業員の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

#### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

#### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

### 7. 取扱いおよび保管

#### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

#### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

#### 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

### 8.1 防止基準

職場暴露限界： \*データなし

#### 導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： \*データなし

### 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくはは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 黄色

臭気： 無臭

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

沸点/沸点範囲 °C： \*データなし

融点/融点範囲 °C： \*データなし

燃焼範囲 %：下限値： \*データなし

上限値： \*データなし

引火点： \*データなし

分配係数 n-オクタノール/水： \*データなし

自然発火温度： \*データなし

蒸気圧： \*データなし

相対密度： \*データなし

pH： \*データなし

揮発性有機化合物 g/l： \*データなし

### 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくはは保管状態のもとで安定。

## 10.2 化学的安定性

化学的安定性： 通常条件下では安定。

## 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。  
下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

## 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

## 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

## 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

毒性値： \*データなし

#### 暴露した場合の症状

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

その他の情報： \*該当なし

## 12. 環境影響情報

### 12.1 毒性

生態毒性値： \*データなし

### 12.2 残留性・分解性

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

### 12.3 生物蓄積性

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

### 12.4 土壌への移動性

移動性： 容易に土壌に吸収される。

### 12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 12.6 その他の有害影響

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

処理作業： 専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

特定の規制： \*本安全データシートは義務付けられたものではない。

### 15.2 化学的安全評価

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

法的免責： 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

保管温度： 2-8°C

### 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： ブロッキング試薬

製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル

電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）

FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CHIPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。

CLPにおける分類： 本品にはCLPにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると  
有毒性： 判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質： 過酸化水素

EC	CAS	CHIP分類	CLP分類	パーセント
231-765-0	7722-84-1	-: R5 O: R8; Xn: R20/22 C: R35	酸化性液体 1: H271 急性毒性 4: H332 急性毒性 4: H302 皮膚腐食性 1A: H314	1-10%

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。

吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

#### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 軽度の炎症が付着した部分で起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

#### 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

#### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

#### 5.3 消火作業への注意事項

消火作業への保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

#### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

#### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

### 7. 取扱いおよび保管

#### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

#### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

### 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途 \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

### 8.1 防止基準

有害物質：過酸化水素

職場暴露限界：

吸入性粉じん

国・地域	8時間加重平均	15分短時間暴露許容濃度	8時間加重平均	15分短時間暴露許容濃度
イギリス	1.4 mg/m <sup>3</sup>	2.8 mg/m <sup>3</sup>	-	-
アイルランド	1.5 mg/m <sup>3</sup>	3 mg/m <sup>3</sup>	-	-
アメリカ	1.4 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
カナダ	1.4 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
オーストラリア	1.4 mg/m <sup>3</sup>	-	-	-
ニュージーランド	-	-	-	-

### 導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： \*データなし

### 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 無色

臭気： 無臭

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

沸点／沸点範囲 °C：	*データなし	融点／融点範囲 °C：	*データなし
燃焼範囲 %：下限値：	*データなし	上限値：	*データなし
引火点：	*データなし	分配係数 n-オクタノール/水：	*データなし
自然発火温度：	*データなし	蒸気圧：	*データなし
相対密度：	*データなし	pH：	*データなし
揮発性有機化合物 g/l：	*データなし		

## 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくは保管状態のもとで安定。

### 10.2 化学的安定性

化学的安定性： 通常条件下では安定。

### 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。  
下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

### 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

### 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

### 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

毒性値： データなし

危険成分： 過酸化水素

投与経路	動物種	試験	数値	単位
経口	マウス	半数致死量	2	mg/kg
経口	ラット	半数致死量	376	mg/kg
経皮	ラット	半数致死量	4060	mg/kg

#### 暴露した場合の症状

- 皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。
- 目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。
- 飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。
- 吸入した場合： 症状なし
- 遅発性/急性の作用： \*データなし
- その他の情報： \*該当なし

## 12. 環境影響情報

### 12.1 毒性

生態毒性値： データなし

### 12.2 残留性・分解性

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

### 12.3 生物蓄積性

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

### 12.4 土壌への移動性

移動性： 容易に土壌に吸収される。

### 12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

### 12.6 その他の有害影響

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

処理作業： \*専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

特定の規制： \*本安全データシートは規制によって必要とされない。

### 15.2 化学的安全評価

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

用語説明： H271：火災や爆発を引き起こす可能性がある。強力な酸化剤。

H302：飲み込むと有害。

H314：重篤な皮膚・目の損傷を引き起こす場合がある。

H332：吸入すると有害。

R5：熱を加えると爆発を引き起こす可能性がある。

R8：可燃性物質との接触は火災の原因となる場合がある。

R20/22：吸入したり飲み込んだりすると有害。

R35：重度の火傷を引き起こす。

法的免責： 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

保管温度： 2-8°C

### 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、政令第18条第6号）「過酸化水素」（政令番号：2）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（政令第18条の2別表第9）「過酸化水素」（政令番号：126）

危険物 酸化性の物：その他の無機過酸化物「過酸化水素」（政令別表第1）

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： ポリマー試薬

製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル

電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）

FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CHIPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。

CLPにおける分類： 本品にはCLPにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・  
有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質： \*該当なし

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。

吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 軽度の炎症が付着した部分で起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

#### 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

#### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

#### 5.3 消火作業員への注意事項

消火作業員の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

#### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

#### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

### 7. 取扱いおよび保管

#### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

#### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

#### 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

### 8.1 防止基準

職場暴露限界： データなし

導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： データなし

### 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 黄色

臭気： 無臭

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

沸点/沸点範囲 °C： \*データなし

融点/融点範囲 °C： \*データなし

燃焼範囲 %：下限値： \*データなし

上限値： \*データなし

引火点： \*データなし

分配係数 n-オクタノール/水： \*データなし

自然発火温度： \*データなし

蒸気圧： \*データなし

相対密度： \*データなし

pH： \*データなし

揮発性有機化合物 g/l： \*データなし

### 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくは保管状態のもとで安定。

## 10.2 化学的安定性

化学的安定性： 通常条件下では安定。

## 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。  
下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

## 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

## 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

## 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

毒性値： データなし

#### 暴露した場合の症状

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

その他の情報： \*該当なし

## 12. 環境影響情報

### 12.1 毒性

生態毒性値： データなし

### 12.2 残留性・分解性

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

### 12.3 生物蓄積性

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

### 12.4 土壌への移動性

移動性： 容易に土壌に吸収される。

### 12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 12.6 その他の有害影響

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

処理作業： \*専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

特定の規制： \*本安全データシートは義務付けられたものではない。

### 15.2 化学的安全評価

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

法的免責： 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

保管温度： 2-8°C

### 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない

## 1. 物質・混合物および会社情報

### 1.1 製品情報

製品名： プライマリー試薬

製品番号： TA9145

### 1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： \*研究用

### 1.3 安全データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社  
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル

電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）

FAX番号： 03-5155-4334

## 2. 危険有害性情報

### 2.1 物質・混合物の分類

CHIPにおける分類： 本品にはCHIPにおける分類はない。

CLPにおける分類： 本品にはCLPにおける分類はない。

### 2.2 表示要素

表示要素： 本品には表示要素はない。

### 2.3 他の危険性

難分解性・生体蓄積性・  
有毒性： 本物質は、難分解性・生体蓄積性・有毒性／極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 3. 組成、成分情報

有害物質： \*該当なし

## 4. 応急措置

### 4.1 応急措置：

皮膚に付着した場合： 直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合： 15分間流水で目を洗うこと。

飲み込んだ場合： 水で口をすすぐこと。

吸入した場合： \*誤って蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動すること。

### 4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

皮膚に付着した場合： 軽度の炎症が付着した部分で起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

#### 4.3 応急処置および特別な治療

応急処置および特別な治療： \*該当なし

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

消火剤： \*周辺火災に適した消火剤を使用すること。

#### 5.2 物質・混合物による特有の危険性

暴露したときの危険： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

#### 5.3 消火作業員への注意事項

消火作業員の保護： 自給式呼吸器を着用すること。皮膚と目への付着を防ぐために防護衣を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

人体に対する注意事項： 安全データシート「8. 暴露防止および保護措置」を参照。液体の漏出を防ぐために漏れている容器の漏れている面を上に向けること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝や河川に排水しないこと。擁壁を使って漏出物を封じ込むこと。

#### 6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

処分方法： 乾燥した土壌または砂で吸収する。処分用の閉鎖可能なラベル付き回収容器に適切な方法で移す。

#### 6.4 参照

参照： \*安全データシート8、安全データシート13

### 7. 取扱いおよび保管

#### 7.1 安全に取扱うための注意事項

取扱い条件： \*本物質に直接触れないこと。

#### 7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

保管条件： 涼しくて換気が十分な場所に保管する。容器をしっかりと閉じておく。

適切な包装： \*該当なし

#### 7.3 特定の最終用途

特定の最終用途： \*研究用

## 8. 暴露防止および保護措置

### 8.1 防止基準

職場暴露限界： データなし

導出無毒性量/予測無影響濃度評価

導出無毒性量/予測無影響濃度： データなし

### 8.2 暴露防止

技術的対策： \*「7. 取扱いおよび保管」に記載されたすべての技術対策が整備されていることを確認すること。

呼吸系の保護具： 呼吸保護不要。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 安全ゴーグル。洗目コップを身近に用意する。

皮膚の保護具： 保護衣

環境の保護： \*公共下水道もしくは直接環境に流入することを避けること。

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

状態： 液体

色： 黄色

臭気： 無臭

蒸発率： \*データなし

酸化： \*データなし

水への溶解度： \*データなし

粘度： \*データなし

沸点/沸点範囲 °C： \*データなし

融点/融点範囲 °C： \*データなし

燃焼範囲 %：下限値： \*データなし

上限値： \*データなし

引火点： \*データなし

分配係数 n-オクタノール/水： \*データなし

自然発火温度： \*データなし

蒸気圧： \*データなし

相対密度： \*データなし

pH： \*データなし

揮発性有機化合物 g/l： \*データなし

### 9.2 その他の情報

その他の情報： \*該当なし

## 10. 安定性および反応性

### 10.1 反応性

反応性： \*推奨している輸送もしくは保管状態のもとで安定。

## 10.2 化学的安定性

化学的安定性： 通常条件下では安定。

## 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応： \*危険な反応は通常の輸送もしくは保管状態のもとでは生じない。  
下記に示す状態や物質に曝すと分解する恐れがある。

## 10.4 回避すべき条件

回避すべき条件： 熱。

## 10.5 禁忌物質

禁忌物質： 強力な酸化剤。強酸。

## 10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物： 燃焼時に有毒ガスを放出する。

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

毒性値： データなし

#### 暴露した場合の症状

皮膚に付着した場合： 付着した部分で軽度の炎症が起こる場合がある。

目に入った場合： 炎症や発赤が起こる場合がある。

飲み込んだ場合： のどの炎症が起こる場合がある。

吸入した場合： 症状なし

遅発性/急性の作用： \*データなし

その他の情報： \*該当なし

## 12. 環境影響情報

### 12.1 毒性

生態毒性値： \*データなし

### 12.2 残留性・分解性

蓄積性・分解性： 生物分解性あり

### 12.3 生物蓄積性

生物蓄積性： 生物蓄積性なし

### 12.4 土壌への移動性

移動性： 容易に土壌に吸収される。

### 12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果

難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性の物質であると判定されていない。

## 12.6 その他の有害影響

その他の有害影響： ごくわずかな生態毒性。

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

処理作業： 専門の廃棄業者に回収してもらうために、適切な容器に移し整える。

回復作業： \*該当なし

容器の処理： \*水で洗い、通常の産業廃棄物として廃棄する。

注： 使用者は、処分に関する地域または国の規制があるかどうか注意する必要がある。

## 14. 輸送情報

輸送分類： 本製品は輸送分類を必要としない。

## 15. 規制情報

### 15.1 本物質や化合物についての具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

特定の規制： \*本安全データシートは義務付けられたものではない。

### 15.2 化学的安全評価

化学的安全評価： \*供給者による化学的安全評価は本物質や化合物に対して行われていない。

## 16. その他の情報

### その他の情報

その他の情報： \* は直近の改訂以降に変更した安全データシート中の箇所を示す。

法的免責： 以上の情報は適正であると考えられるが、すべてを包括していることを意味せず、手引きとしてのみ用いることとする。当社は、上記製品の取り扱いや上記製品の付着に起因するいかなる損害についても責任を負わないこととする。

保管温度： 2-8°C

### 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない